

中原通信



文責 増永 善久



児童会の各委員会の活動について

新年度がはじまって、2ヶ月が過ぎ、1年生も学校生活に慣れてきた姿が見られるようになりました。そのような中、6月9日(月)に児童集会が行われ、児童会の各委員会から、今年度の活動目標と活動計画についての説明がありました。本校には、「環境委員会」「保健・給食委員会」「図書・人権委員会」「体育・運営委員会」があり、より良い学校にするため、3年生以上の児童が5・6年生を中心に活動しています。今回の集会で、自分たちや学校の課題を考え、その課題を解決するためには、どのような委員会活動にするかなど、しっかりと提案してくれました。「自分たちで、自分たちの学校をつくりあげていく」という気持ちが高まっているのを感じ、うれしい気持ちになりました。この委員会活動のように「自分で課題を見つけ、課題解決のために行動する」ことは、変化の激しい時代に対応する力や自分の持つ力を伸ばすことにつながると思います。また、このような活動は、勉強以外の観点から「自分にはどんな力があるだろう、どんなことに向いているだろう」など、自分の知らない自分(新たな自分)を見つけ出すことにもつながります。自分の持つ力を伸ばし、新たな自分を発見すれば、将来の自分の生き方(進路)を選択する幅が増えると思います。つまり、子どもたちの可能性を拡げることにつながります。保護者の皆さまや地域の皆さまとの連携のもと、子どもたちの持つ可能性を拡げるために、今後もさまざまな教育活動や体験活動をしっかりと進めていきます。



万博研修・修学旅行

◎万博研修

町のご支援のもと、町の3小学校の5・6年生および南小国中の生徒で、5月27日～29日の日程で万博研修に5・6年生が参加しました。万博研修では、最前線の科学や未来社会の体感、地方創生SDGsフェスでの南小国町のPR見学・南小国町ブースの見学などを行いました。実際に、見て、感じることは、子どもたちにとって素晴らしい経験となり、思い出にもなったと思います。また、自分たちはふるさとから大切にされているという実感や町を誇りに思う気持ちも育まれたとも思います。本校が目指している、「ふるさとを想う気持ち」の育成や「非認知能力」の育成につながる貴重な体験でした。それとともに、この研修では、中学生が小学生を適切にリードする姿に感心させられました。



◎修学旅行

6年生は、万博研修から帰った3日後、町の3小学校連合で長崎への修学旅行に行きました。1日目は平和学習、2日目はハウステンボスでの活動でした。現在の世界を見ると、対立と分断で、人々が命を落とす出来事が頻繁に報道されています。また、今年は、第2次世界大戦が終わり80年を迎えます。そのような中、今回の平和学習は、長崎での出来事から、命を大切にし、平和を守ることにについて理解する機会となり、平和のために自分にできることを考えることにつながりました。



※保護者の皆さまへ、6月15日(日)の日曜学校・親子ふれあい作業等お世話になります。